

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
（都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書）

都道府県名 千葉県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			現状			目標			実績			スマート農業推進特 導入・定着の取組の 実施内容	事後評価の検証方法 （※定量的な検証が できること。）	達成率 （%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					年度	面積 [ha]	生産量又は 出荷量[kg]	生産コスト [円/a]	年度	面積 [ha]	生産量又は 出荷量[kg]	生産コスト [円/a]	年度	面積 [ha]	生産量又は 出荷量[kg]	生産コスト [円/a]						
千葉市農業再生協議会	17	椎名地区	水稲	コンバイン・乾燥機などの大型農機具による収穫・乾燥調整の省力化、及びチームスプレーヤーの導入による除草作業の省力化により、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減 (10.1%の削減)	H28	28	65,364円/a	R1	28	58,773円/a	48.2	R1	28	55,382円/a	48.6	151.4	面積の拡大を進めながら、減農薬の取組みや、無駄なコストの削減を推進し、目標を達成した。引き続き、椎名地区の水田農業を担っていただくことを期待する。	面積拡大と経費削減によって、目標を上回る生産コスト削減が図られた。			
柏市農業再生協議会	18	水稲	高性能農業機械の導入による経営規模拡大と生産コスト削減による収益性向上	単位面積当たりの生産コスト10%以上の削減	H28	28	68,923円/a	R1	28	61,169円/a	95	R1	28	61,868円/a	89	91	地域の中心の農業者1戸の決算資料又は決算概要資料により検証。	高性能農業機械の導入により、規模拡大と労働費等のコスト削減に繋がっているが、目標達成までには至らなかった。	一定の成果に繋がっているもの目標達成に至らなかったことから、更なる規模拡大と経費削減に向けた支援を継続する。			

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			現状			目標			実績			スマート農業推進特 導入・定着の取組の 実施内容	地域（県又は国を含む） の産額（販売単価）	補正係数	事後評価の検証方法 （※定量的な検証が できること。）	達成率 （%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考							
					年度	面積 [ha]	生産量又は 出荷量[kg]	価格(販売単価) [円/kg]	生産コスト [円/a]	年度	面積 [ha]	生産量又は 出荷量[kg]	価格(販売単価) [円/kg]	生産コスト [円/a]	年度	面積 [ha]									生産量又は 出荷量[kg]	価格(販売単価) [円/kg]	生産コスト [円/a]				
印西市農業再生協議会	5	印西市竹安・大森・東海地区	施設野菜	接ぎ木ロボット・挿し木ロボット・苗作機・育苗機等の導入を行うことで生産性の向上をはかり、販売額の10%以上の増加を達成する。	販売額の10%以上の増加	H27	27	541,538,182円	8.3	ha	R1	27	672,508,671円	8.3	ha	R1	27	720,803,202円	8.3	ha	法人の決算資料又は決算概要資料等により検証。	137	機械導入前よりも売り上げの増加が見られ、目標を達成している。	事業実施により、販売金額の増加が図られた。引き続き、産地振興に向け支援を行う。	※外的要因等による価格変動は生じない						
千葉市農業再生協議会	14	緑区大井町、越智町、板倉町（おすみ出荷組合）	露地野菜（にんじん、やまといも、ごぼう、キャベツ、だいこん、トウモロコシ）	大型トラクター、大型ロータリー、マニキュアスプレッダー、パーチカルロータリー、中耕ロータリーによるリース導入により、作業の効率化を図り、産地の経営規模拡大に取り組み。	販売額の16%増加	H29	29	7,764万円	28.0	ha	R1	29	8,993万円	32.3	ha	R1	29	9,212万円	32.3	ha	■県民 【にんじん、やまといも、ごぼう、だいこん】 販売実績を決算書及び販売単価により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 【トウモロコシ】 販売実績を「人の記憶」により検証。 【やまといも、ごぼう、キャベツ】 販売実績を決算書により検証。 【にんじん、キャベツ】 販売実績を「人の記憶」により検証。 【トウモロコシ】 販売実績を「人の記憶」により検証。	1億480万円	220	成果目標を大幅に上回る実績を達成しており、本事業が順調に推移したものと評価する。	計画通り、目標を達成できていることから、収益力向上に向けて支援を継続する。	（中心的経営体の取組面積） 32.3ha					
千葉市農業再生協議会	15	緑区土気地区	わけねぎ	わけねぎの安定した周年出荷を実現するため、洗淨機、包膜機、乾燥機等の導入により、作業の効率化を図る。また、安定稼働に貢献した期間を利用して付付面積を増やし、販売額の増加に取り組む。	販売額の10%増加	H28	28	3,804万円			R1	28	4,185万円	2.97	ha	R1	28	1,470万円	2.6	ha	368	円/kg	358	円/kg	1,028	1,511万円	601.8	販売実績を千葉のみらい農業協同組合の出荷記録で確認。	実績はとても厳しいものとなったが、今年、関係機関で連携し、生産増に向けて支援を行っていく。	面積拡大が伸び悩み、生産量の増加につながらなかった。目標達成に向け、産地と連携して支援を継続する。	（中心的経営体の取組面積） 2.97ha
香取市農業再生協議会	16	香取市	かんしゅ	①定量的な、出荷調整機能による生産の安定収入化。 ②契約栽培、契約出荷。 ③定量的な産地による販路拡大の安定収入による販路拡大による付加価値の向上、競争力の強化	販売額の10%以上の増加	H28	28	238,978円/10a			R1	28	579,436円/10a	25	ha	R1	28	598,065円/10a			—	—	—	—	—	—	106	売上伝票、確定申告書、各種別作付計画等から算出。	収益性の高い加工品などの販売を強化し、目標を達成した。	計画通り、目標を達成できていることから、収益力向上に向けて支援を継続する。	※外的要因等による価格変動は生じない
千葉市農業再生協議会	19	緑区土気地区（フールランド土気）	イチゴ、ミニトマト	低コスト耐水性ハウス（2.464㎡）と内部設備の新規整備、及び、前年度のリース導入により総販売額を10%増加する。	販売額の10%増加	H28	28	75,967,210円	1.63	ha	R1	28	83,563,931円	1.88	ha	R1	28	68,969,106円	1.88	ha	いちご 1,260 円/kg トマト 343 円/kg ミニ マト 653 円/kg	いちご 1,220 円/kg トマト 314 円/kg ミニ マト 572 円/kg	いちご 1,025 円/kg トマト 314 円/kg ミニ マト 1,142 円/kg	72,338,669円	-47.8	販売実績を「人の記憶」により検証。 ミニトマトは販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。 販売実績を「人の記憶」により検証。	A氏は今年通りであれば取組目標80%達成できたと考えているので、引き続き売上増に努めていた。今後の対応は取組主体と協議していく。	令和元年の台風、大雨被害により、生産施設が被災したため、計画通りの生産ができていない。販売額増加に向け、被害軽減対策も含めて支援を継続する。	（中心的経営体の取組面積） 0.99ha		

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			現状			目標			実績			事後評価の検証方法 （※定量的な検証が できること。）	達成率 （%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考												
					年度	面積 [ha]	総生産量又は 総出荷量[kg]	契約栽培割合 [%]	年度	面積 [ha]	総生産量又は 総出荷量[kg]	契約栽培割合 [%]	年度	面積 [ha]	総生産量又は 総出荷量[kg]	契約栽培割合 [%]																	
千葉市農業再生協議会	13	花見川区檜橋地区	ベビーリーフ	低コスト耐水性ハウス（2.45ha）の整備 収穫機1台のリース購入	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	H28	28	0	ha	0	t	0	t	R1	28	50%	2.45	ha	59,301	kg	29,651	kg	0	kg	0	kg	0	kg	契約書及び出荷伝票などにより、事業効果を検証。	0	豪雨によるハウス浸水や台風によるハウス破損など被害を受けたため、今後の対応は取組主体と協議していく。	悪化する災害被害が発生しており、栽培環境が厳しい状況にあるため、今後の事業推進について関係機関と連携し、検討を進める。	